



-解脱会太陽精神碑-

かけはし

第44回 解脱選抜少年剣道錬成大会 盛大に開催!



10月30日(日)解脱会主催による恒例の第44回解脱選抜少年剣道錬成大会が、北本市真尾教育長様、埼玉県剣道連盟豊嶋会長他、市関係者並びに県剣道連盟の先生方を始め、多くのご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。今年は特に、過去最多となる85チーム(錬心館3チームを含む)が参加し、県内選抜56チーム、県外より選抜された強豪道場29チーム、遠くは愛知県からの参加を頂き、金剛杯・市長杯を目指して緊迫した熱戦が展開されました。試合数の関係で今回予選リーグを無くし1回戦からトーナメント試合とし、県内同志で戦って勝ち上がったチームが県外の強豪道場に挑むという試合内容で、関東規模の大会にして14回を数えますが、当初、県内チームが県外の強豪道場と対戦すると圧倒的大差で負けていたのが嘘のように、どの会場も接戦に次ぐ接戦で、見事県外チームに勝利する道場も見られ、埼玉県少年剣道のレベル向上がはっきりと感じられる大会となり、主催者側としても大変喜ばしいことであります。我が解脱錬心館Aチームは一回戦からチーム一丸となり、前に前にと技を繰り出し、積極的な試合を展開して準決勝に駒を進め、いよいよ全国屈指の東松館道場との対戦になりました。東松館道場は今年の夏の全国大会で中学生が2年連続日本一に輝いており、他を寄せ付けない強さで準決勝に進出してきました。試合は小学生が奮起し2(3)-0(1)で先手を奪い、一進一退の手に汗握る攻防が続きましたが、中学生で追いつかれてしまい大将戦、両者共に有効打が無いまま時間となり勝負の行方は代表戦、両チーム共に大将が選ばれ、気迫溢れる攻めの剣道で善戦しましたが残念ながら一本を奪われてしまい代表戦の未惜敗、東松館道場が2年連続6回目の栄冠を勝ち取りました。又、今大会にご出席頂いた来賓の方々からは、試合内容は勿論の事、迎える主催者側の一日を通しての行き届いた対応に対してお褒めの言葉を頂きました。これも偏に大会運営に対しご支援・ご協力を頂きました一般部・後援会・OB門下生のお蔭様であり、改めて心よりお礼申し上げます。

解脱選抜剣道錬成大会結果

- 優勝 東松館道場 (東京)
- 準優勝 東松館剣道スポーツ少年団 (東京)
- 3位 洗心道場 (愛知)
- 3位 解脱錬心館A (埼玉)
- 敢闘賞 武蔵館 (埼玉)
- 薮塚剣道クラブ (群馬)
- 解脱錬心館B (埼玉)
- 練兵館 (栃木)

★ 解脱錬心館選手 ★

- Aチーム 伊藤・関根昇・小嶋・柳 菜・濟藤・大西・栗原
- Bチーム 田中隆・内村亜・荒井・池田・関根悠・内村日・鈴木秀
- Cチーム 柳 瑠・田中詩・福永・友清・高野・大泉・荒井



行事予定



《11月》

○ 館の行事

20日(日) 剣道体験教室・10時～11時(錬心館)

※稽古休み 23日(水・祝) 祝日の為

26日(土) 解脱会行事の為

一般部特別稽古会

11月12日(土) 16時～17時30分

11月19日(土) 16時～17時30分

※秋の審査会に向けて頑張りましょう!

○ 大会・審査会

8日(火)・9日(水) 平成28年度中学校剣道新人大会(団体、個人・県立武道館)

12日(土)・13日(日) 七段、六段審査会(名古屋)

16日(水) 女子剣道講習会(一般・県立武道館)

17日(木) 埼玉連月例稽古会(一般・県立武道館)

20日(日) 四段、五段審査会(県立武道館)

20日(日) 第14回桶川べに花杯剣道大会(小中代表・桶川)

21日(月)・22日(火) 八段審査会(日本武道館)

23日(水・祝) 羽生市剣道大会(小中代表・羽生)

23日(水)・24日(木) 七段審査会(東京武道館)

25日(金) 六段審査会(八王子)

27日(日) 第61回埼玉県剣道大会(一般・県立武道館)

○ 受入行事

27日(日) 全国支部長会(解脱会)

28日(月) 第136回解脱金剛御生誕祭(解脱会)

《12月》

○ 館の行事

3日(土) 道場大掃除(9時～11時30分)

17日(土) 稽古納め(全門下生・午前9時～10時半) ※集合8時45分

※一年の節目である稽古納めです。
是非、家族そろって子供達の頑張っている姿を見に来て下さい。



○ 大会・審査会

1日(木) 埼玉連月例稽古会(県立武道館)

4日(日) 埼玉県審議員審査員研究会(埼玉連)

4日(日) 第26回つくば市少年剣道錬成大会(小中代表・つくば市)

10日(土) 第44回関東少年剣道錬成大会(小学生代表・小山)

11日(日) 毎日レディース剣道大会(小中一般女子代表・日野)

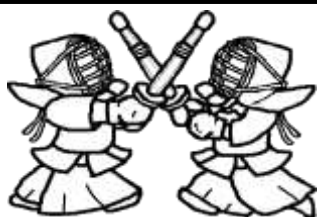
○ 受入行事

4日(土) 埼玉県剣道連盟審議員・審査員研究会(埼玉連)



大祭・スナップ特集

10月10日(月・祝)に毎年恒例の解脱会秋季大祭に少年部・一般部・保護者、約200名が参加しました。素晴らしい秋晴れに恵まれ、門下生全員で心を一つにして日頃お世話になっている解脱会・会員の皆様へ感謝の気持ちを込めて演武させていただきました。(写っていない門下生ごめんね！)



君も剣士に
なろう！

《剣道体験教室のお知らせ》

11月20日(日) 10時~11時

仲間を増やすには、やはりお母さん方の紹介が一番です！

ぜひ「体験教室参加しませんか・一度道場に見学に行きませんか」とお声がけ下さい。よろしくお願ひします！！

☆昇段おめでとうございます-----

初段 大泉波音 (中2)

—平成28年10月16日取得—



☆入門おめでとうございます-----

おのひびき 小野響 (小2)

—平成28年6月14日—

☆大会通信

9月

★武蔵野旗剣道大会 (上尾)

中学男子団体 第3位 北本中

内村・大西・新井・矢部・関根・濟藤・高野

10月

★全国道場少年剣道選手権大会 (広島)

第34回 全国道場対抗剣道大会



中学女子個人・小嶋紅音出場

小学男子個人・小嶋修斗出場

★第1回桜木杯争奪松井剣志会少年剣道錬成大会 (所沢)



小学混成団体 準優勝

大将・柳菜々海
副将・小嶋修斗
中堅・関根昇之介
次鋒・田中隆斗
先鋒・伊藤健太

中学男子個人 優勝内村日向 準優勝大西尊
中学女子個人 準優勝大泉波音

★平成28年度愛知県道場連盟近藤杯争奪剣道大会 (愛知)



★厳心旗争奪第44回総和剣道大会 (総和)



小学団体 第3位

大将・柳菜々海
副将・荒井大輝
中堅・池田翔
次鋒・関根昇之介
先鋒・小嶋修斗

11月

★第14回埼玉県剣道大会・小学生の部 (上尾)



個人戦
3年生の部
優勝 伊藤健太
準優勝 柳 瑠里
6年生の部
第3位 柳菜々海

★埼玉県中学校新人大会 (上尾)



中学女子個人
優勝 大泉波音

～ われいがいみなしなり 我以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

伝統の力

◆大きな弁当箱のようにぶ厚かった日めくりカレンダーが、いつの間にかめっきり薄くなり、改めて触って確かめたくなる、そんな気持ちにさせられて11月を迎えた。しかし、何度確認してみても後2か月足らずとなった時間を延ばすことも戻すことも出来ない。毎年同じ時期に同じようなことを感じている自分を情けなく思いつつ、空元気を出して「残された時間はまだ2か月もある！」と自分に言い聞かせて木枯らし1号の吹く中、家を出る。◆「楽を求めたら後は苦しみしか待っていない」今年も恒例の全日本選手権が去る3日、日本武道館で開催されたが、予選を勝ち抜いて出場された選手の皆さんは、常にそういう気持ちを忘れずに精進努力され、晴れの舞台に立たれたことと心より敬意を表する次第である。私も毎年日本武道館に出させてもらっているが、今年も張り詰めた緊張感の中に凛とした独特の雰囲気を感じながら白熱した好試合を観戦させてもらった。その中であって、見事優勝を勝ち取った勝見選手が所属する神奈川県警には、昨年からOBのT君がお世話になって指導を頂きながら共に厳しい稽古に励んでいる。準優勝の國友選手のお父さんは教員をされていて、やはりOBのK君が縁あって遠く福岡の先生の高校にお世話になり三年間、授業や部活動は勿論のこと生活面から本当の家族のようにしてご指導頂いた。そして、初出場で3位に入賞した国士舘大学3年生の宮本選手は、錬心館が大会や錬成会で長年に亘ってお世話になっている茨城県の結城尚武館の出身だ。小学生の低学年の頃から非凡な才能を発揮して活躍しており、将来を楽しみにしていた一人で、当時試合で対戦していた錬心館のOBにとっては、何度も苦杯をなめさせられた強力なライバルであったが、今でも親交を深めているようだ。他にも色々な面で錬心館と関係の深い選手も何人か見ることができた。◆錬心館が大会や錬成会での交流を始め、様々な活動・行事の中から、更には全国各地で活躍している多くのOB諸君を通して、県内外はもとより日本全国に、そして世界の剣道愛好家とも友好を深めさせて頂き、その広がりや想像を超えて年々大きくなっている。このことは、単に錬心館を知って頂いているだけに止まらず、門下生諸君の将来において掛け替えのない財産になっていくものと信じるものだ。◆門下生諸君も指導者も保護者も、今の自分達だけが努力しているわけではない。45周年を迎えた錬心館の歴史と伝統と先人先輩方の努力のお陰によって私達は有形無形の恩恵を頂いて今、努力しがいのある努力をさせてもらっている。何と有難いことか。先日の主催大会に初めて参加されたある先生が開口一番「こんな立派な道場で毎日稽古ができるんですか？」と話されたと聞いた。いつの間にか私達は、恵まれていることに慣れてしまっていて全てが当たり前になってはいまいか。今一度真摯に受け止め、礼節をもって謙虚に精進したいものである。きっと先人達も喜んで、これまで以上に見守り応援してくれるはずだ。それが伝統の力であり、過去と現在が一つになって未来へと繋がっていくのだ。

編集後記

先日の主催大会では、大勢の方々にご協力を頂きありがとうございました。試合の結果は惜しくも第3位、悔しい結果となりましたがこの経験を活かし更なる成長が出来る様、子供達と共に頑張ります！(Y)